



## 2020年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年12月5日

上場会社名 スバル興業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9632 URL https://subaru-kougyou.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 永田 泉治  
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役管理本部長(氏名) 松丸 光成 (TEL) (03)3213-2861  
 四半期報告書提出予定日 2019年12月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年1月期第3四半期の連結業績(2019年2月1日~2019年10月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年1月期第3四半期	19,880	5.7	3,295	36.5	3,328	36.2	2,656	68.8
2019年1月期第3四半期	18,816	10.2	2,413	△3.0	2,443	△2.8	1,574	△4.9

(注) 包括利益 2020年1月期第3四半期 2,656百万円(66.0%) 2019年1月期第3四半期 1,600百万円(△4.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年1月期第3四半期	1,033.63	—
2019年1月期第3四半期	612.27	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年1月期第3四半期	29,531	24,400	82.3
2019年1月期	26,815	22,234	82.6

(参考) 自己資本 2020年1月期第3四半期 24,313百万円 2019年1月期 22,148百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年1月期	—	50.00	—	140.00	190.00
2020年1月期	—	50.00	—		
2020年1月期(予想)				290.00	340.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※期末配当金の内訳 2019年1月期 普通配当金50円 特別配当 90円

2020年1月期(予想) 普通配当金50円 特別配当240円

詳細は、本日付で別途公表いたしました「2020年1月期(第106期)配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 3. 2020年1月期の連結業績予想(2019年2月1日~2020年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,800	6.5	3,830	25.0	3,870	34.2	2,900	59.3	1,128.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年1月期3Q	2,662,000株	2019年1月期	2,662,000株
2020年1月期3Q	91,741株	2019年1月期	91,314株
2020年1月期3Q	2,570,259株	2019年1月期3Q	2,571,221株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出を中心に弱さが見られたものの雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等により、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは各事業において業績の向上に努めました結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は198億8千万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は32億9千5百万円（前年同期比36.5%増）、経常利益は33億2千8百万円（前年同期比36.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、『銀座スバルビル』の売却益を計上したこともあり、26億5千6百万円（前年同期比68.8%増）となりました。

以下、セグメント別の概況をご報告申し上げます。

## (道路関連事業)

道路関連事業は、公共投資が底堅さを増しておりますが、労務費および資機材価格の上昇、慢性的な建設技能者の不足や企業間における受注競争の激化等により、依然として予断を許さない状況が続きました。このような状況のなか、当社グループは、原価管理の徹底によるコストの削減や業務の効率化による収益の向上に努め、また高速道路のリフレッシュ工事や災害復旧工事、橋梁補修工事が完工する等、業績は順調に推移し、売上高は173億6千2百万円（前年同期比7.1%増）、セグメント利益は34億5千2百万円（前年同期比37.5%増）となりました。

## (レジャー事業)

『有楽町スバル座』は、10月20日をもって閉館し、創業当初から70年以上にわたり営んできた映画興行事業は終了いたしました。閉館に際し、「スバル座の輝き～メモリアル上映～」と題した特別興行を行い、映画史を飾った45作品を上映いたしました。興行事業の売上高は、「ある町の高い煙突」や「愛がなんだ」等が人気を博し、前年同期を上回りました。

飲食事業は、人件費の上昇や原材料価格の高止まり、相次ぐ天候不順による来店者の減少等、依然として厳しい事業環境が続きました。このような状況のなか、物品販売では、炭酸飲料水等が好調に推移し、飲食店では、お客様のニーズに合わせたメニューの提供や店舗改装による集客力の強化に努めましたが、飲食店舗減少の影響もあり、売上高は前年同期を下回りました。

マリーナ事業は、『東京夢の島マリーナ』『浦安マリーナ』の両マリーナにおける年間契約の船舶係留数が高水準に推移したことに加え、船舶修繕業務等が好調に稼働しましたが、台風等の天候不順により施設利用者が減少し、売上高は前年同期並みとなりました。

以上の結果、レジャー事業全体の売上高は20億4千9百万円（前年同期比3.8%減）となり、セグメント利益は1億1千4百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

## (不動産事業)

不動産事業は、『吉祥寺スバルビル』や『新木場倉庫』等の賃貸物件が堅調に稼働し、売上高は4億6千8百万円（前年同期比0.1%減）となり、修繕費用の減少により、セグメント利益は2億8千6百万円（前年同期比10.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の減少等がありましたが、現金及び預金、未成工事支出金の増加、土地の取得等により前連結会計年度末に比べ27億1千6百万円増の295億3千1百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の減少がありましたが、未払法人税等、賞与引当金の増加等により前連結会計年度末に比べ5億5千万円増の51億3千1百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ21億6千5百万円増の244億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2019年9月5日に公表いたしました2020年1月期の連結業績予想を変更しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,419,797	10,464,584
受取手形及び売掛金	5,195,817	4,434,573
商品	70,556	69,704
未成工事支出金	888,790	971,014
原材料及び貯蔵品	110,804	170,616
短期貸付金	1,200,000	1,200,200
その他	101,024	146,197
貸倒引当金	△52,029	△57,087
流動資産合計	14,934,761	17,399,804
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,560,110	2,610,795
機械装置及び運搬具（純額）	1,558,861	1,501,998
土地	4,745,096	5,116,884
建設仮勘定	—	5,099
その他（純額）	158,769	164,634
有形固定資産合計	9,022,838	9,399,412
無形固定資産		
のれん	627,761	572,371
その他	66,128	68,317
無形固定資産合計	693,890	640,688
投資その他の資産		
投資有価証券	299,610	298,863
繰延税金資産	135,735	212,128
差入保証金	850,740	857,596
保険積立金	742,307	586,028
その他	368,501	366,834
貸倒引当金	△233,094	△229,760
投資その他の資産合計	2,163,801	2,091,692
固定資産合計	11,880,530	12,131,793
資産合計	26,815,291	29,531,597

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,774,315	1,445,540
未払法人税等	554,699	829,199
賞与引当金	99,873	314,552
役員賞与引当金	28,760	—
その他	1,034,916	1,456,414
流動負債合計	3,492,564	4,045,706
固定負債		
繰延税金負債	12,823	7,927
退職給付に係る負債	271,346	278,831
資産除去債務	261,954	237,306
その他	541,876	561,412
固定負債合計	1,088,001	1,085,477
負債合計	4,580,565	5,131,183
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,331,000	1,331,000
資本剰余金	1,273,811	1,273,811
利益剰余金	19,881,673	22,050,191
自己株式	△343,519	△346,126
株主資本合計	22,142,965	24,308,875
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,350	4,663
その他の包括利益累計額合計	5,350	4,663
非支配株主持分	86,410	86,873
純資産合計	22,234,726	24,400,413
負債純資産合計	26,815,291	29,531,597

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年2月1日 至2018年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年2月1日 至2019年10月31日)
売上高	18,816,800	19,880,524
営業費用	15,121,720	15,212,876
売上総利益	3,695,079	4,667,648
一般管理費	1,281,592	1,372,193
営業利益	2,413,487	3,295,454
営業外収益		
受取利息	1,227	1,283
受取配当金	7,360	4,697
受取保険金	88	17,114
受取補償金	160	—
その他	24,701	15,982
営業外収益合計	33,538	39,078
営業外費用		
その他	3,412	5,575
営業外費用合計	3,412	5,575
経常利益	2,443,612	3,328,958
特別利益		
保険解約返戻金	10,116	2,640
固定資産売却益	—	609,751
特別利益合計	10,116	612,391
特別損失		
固定資産売却損	—	24,013
減損損失	15,308	—
特別損失合計	15,308	24,013
税金等調整前四半期純利益	2,438,420	3,917,337
法人税、住民税及び事業税	888,867	1,340,986
法人税等調整額	△55,103	△81,206
法人税等合計	833,764	1,259,779
四半期純利益	1,604,656	2,657,557
非支配株主に帰属する四半期純利益	30,380	621
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,574,275	2,656,936

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)
四半期純利益	1,604,656	2,657,557
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,826	△686
その他の包括利益合計	△3,826	△686
四半期包括利益	1,600,830	2,656,871
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,570,449	2,656,249
非支配株主に係る四半期包括利益	30,380	621

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年2月1日 至 2018年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	道路関連事業 (千円)	レジャー事業 (千円)	不動産事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	16,217,406	2,130,750	468,643	18,816,800	—	18,816,800
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	537,164	44,009	581,173	△581,173	—
計	16,217,406	2,667,914	512,652	19,397,973	△581,173	18,816,800
セグメント利益	2,511,634	113,710	258,988	2,884,334	△470,847	2,413,487

(注) 1 セグメント利益の調整額△470,847千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)

## 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	道路関連事業 (千円)	レジャー事業 (千円)	不動産事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	17,362,743	2,049,399	468,380	19,880,524	—	19,880,524
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	515,598	43,050	558,648	△558,648	—
計	17,362,743	2,564,998	511,430	20,439,172	△558,648	19,880,524
セグメント利益	3,452,329	114,894	286,829	3,854,052	△558,597	3,295,454

(注) 1 セグメント利益の調整額△558,597千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。